ねむの木通信

R8年　夏号

暑い季節になり汗や紫外線等の影響が肌に出やすくなってきました。皮膚の重要な働きは、体の外から異物が侵入するのを防ぐ『バリア機能』です。子どもの肌は大人より薄く、ちょっとした刺激でも傷つきやすいです。感染力の強い病気も多いので、早めの発見・ケアを心掛けましょう。

接触皮膚炎

いわゆる「かぶれ」です。赤くなり、かゆみをもったりブツブツができたりします。オムツ、マスク、口のまわりのよだれや食物の刺激が原因となります。こすらず、やさしく拭きましょう。原因物質を取り除けば改善します。

伝染性膿痂疹（とびひ）

かゆみのある水疱ができます。かくとすぐにつぶれ、指についた菌は他の部位にもうつって水疱をつくり、あっという間に広がります。人にもうつるため治るまでプール遊びは控えましょう。早めに受診し、しっかり治療しましょう。

あせも

汗をかきやすいところが赤くなり、ブツブツができます。シャワーで汗を洗い流す、お風呂上りはきちんと体を乾かす、通気性のよい肌着を着せる、エアコンを上手に使うなど心掛けましょう。

虫刺され

原因となる虫によって症状に違いが出ます。赤くはれる、水膨れになる、痛みやかゆみを伴うなど、症状は様々です。腫れがひどくなったり汁が出るようなら皮膚科を受診しましょう。

●○肌ケアの基本は清潔と保湿○●

清潔　泡でやさしく洗う
⇩（汗や汚れをきれいに洗い流す）
保湿　水分・油分を補う
（シャワー後、汗を拭いた後は保湿をする）

発疹や虫刺されをかきこわすと悪化したり、とびひになることもあります。爪が伸びていないか、こまめにチェックしましょう。

利用には、お子さんが元気なうちに事前登録が必要です

一度の登録で市内の病児病後児保育室がすべて利用できます。対象年齢は**生後６か月～小学校６年生まで、自宅保育の方も利用できます。**

登録は予約制です。お電話にてご予約お願いします。

食事がなかなかとれない、咳が続いている、まだ身体がだるそうなど、
集団生活再開まであと一歩のそんな時に、是非ねむの木をご利用ください。
ゆっくり体を休めて、集団生活への復帰と回復を支援します。

小学生も利用できます。
例えば夏休み中、**治りかけで、まだ一日学童に行くのは大変・・・**
そんな時にも、ねむの木でゆったり体を休めませんか？
体調が落ち着いていれば**宿題等の持ち込み**もできます☺

ねむの木のお盆の休室期間は
令和８年８月１３日（木）～１４日（金）です。

受入れ疾患名(R8 年 4～6 月)
・感冒　　・感染性胃腸炎
※キャンセル分を含む

新潟市病児・病後児保育事業
風の子保育園併設　病後児保育室
ねむの木　　☎0256-72-8005
新潟市西蒲区巻甲１７４０